



タイトル Title	新保博博士略歴・著作目録(新保博博士記念号)(List of Books and Articles by Dr. Hiroshi Shimbo)
著者 Author(s)	
掲載誌・巻号・ページ Citation	国民経済雑誌,156(3):161-169
刊行日 Issue date	1987-09
資源タイプ Resource Type	Departmental Bulletin Paper / 紀要論文
版区分 Resource Version	publisher
権利 Rights	
DOI	
JaLDOI	10.24546/00173699
URL	http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/00173699

新保博博士略歴・著作目録

略 歴

- 大正12年11月11日 東京本郷にて出生
- 昭和16年3月 東京安田商業学校卒業
- 昭和16年4月 慶應義塾大学高等部入学
- 昭和18年9月 同部卒業
- 昭和18年10月 慶應義塾大学経済学部入学
- 昭和18年12月1日 「学徒出陣」により陸軍（横須賀重砲兵連隊）に入隊
- 昭和20年10月 慶應義塾大学経済学部復学
- 昭和22年9月 同学部卒業
- 昭和22年10月 慶應義塾大学大学院進学
- 昭和24年4月 慶應義塾大学経済学部副手。同時に文部省大学院特別研究生となる
（昭和26年5月まで）
- 昭和26年5月 神戸大学経済学部助手
- 昭和27年8月 神戸大学経済学部講師
- 昭和28年12月 神戸大学経済学部助教授
- 昭和38年4月 神戸大学経済学部教授
- 昭和39年2月19日 経済学博士（学位論文・近世農村の史的考察——商品経済の発展と農村構造の変化——）
- 昭和40年2月1日 アメリカ合衆国，連合王国，スペイン，ポルトガル，フランス，オランダ，西ドイツ，オーストリア，イタリア及びアラブ連合へ出張
（昭和41年1月15日まで）
- 昭和43年4月1日 神戸大学経済学部夜間学部主事（昭和44年3月31日まで）
- 昭和44年1月1日 社会経済史学会理事（現在まで）
- 昭和46年6月1日 神戸大学評議員（昭和48年5月31日まで）
- 昭和48年2月1日 学術審議会専門委員（昭和49年12月31日まで）
- 昭和49年6月2日 アメリカ合衆国，カナダ，オランダ，オーストリア，イタリア，スイス，フランス，スペイン，ポルトガルの各国へ出張（昭和49年8月14日まで）

- 昭和51年3月14日 大韓民国へ研修旅行（昭和51年3月20日まで）
- 昭和51年4月1日 神戸大学附属図書館六甲台分館長（昭和53年3月31日まで）
- 昭和53年11月16日 神戸大学経済学部長・同大学院経済学研究科長（昭和55年11月15日まで）
- 昭和56年7月4日 神戸大学国際交流センター長（昭和60年7月3日まで）
- 昭和59年6月1日 大学入試センター教科専門委員会委員（昭和61年3月31日まで）
- 昭和61年6月27日 アメリカ合衆国、カナダへ出張（昭和61年9月4日まで）
- 昭和62年3月31日 神戸大学経済学部を定年退官
- 昭和62年4月1日 神戸大学名誉教授
- 昭和62年4月1日 中京大学経済学部教授

著 作 目 録

— 著 書 —

- 封建的小農民の分解過程——近世西 新生社 昭和42年
攝津菜種作地帯を中心に——
- 日本近代信用制度成立史論 有斐閣 昭和43年
- 数量経済史入門（速水融・西川俊作 日本評論社 昭和50年
と共著）
- 近世の物価と経済発展——前工業化 東洋経済新報社 昭和53年
社会への数量的接近——
- 神戸商工会議所百年史（井上忠勝・神戸商工会議所 昭和57年
高橋久一と共著）
- 寛政のビジネス・エリート P H P 研究所 昭和60年

— 編 書 —

- 数量経済史論集1・日本経済の発展 日本経済新聞社 昭和51年
（梅村又次・西川俊作・速水融と
共編）
- 数量経済史論集2・近代移行期の日 日本経済新聞社 昭和54年
本経済（安場保吉と共編）

— 訳 書 —

- J. R. ヒックス「経済史の理論」 日本経済新聞社 昭和45年
- J. W. ホール・M. B. ジャンセ ミネルヴァ書房 昭和48年

ソ編「徳川社会と近代化」(宮本
又次と共監訳)

- K. ヤマムラ「日本経済史の新しい ミネルヴァ書房 昭和51年
方法——徳川・明治初期数量分析
——」(神木哲男と共監訳)

— 論 文 —

- 享保期を中心とする幕府徴租様式の 三田学会雑誌 第41巻第11・12号 昭和23年12月
変質について
- 樋籠村の土地問題——地守制を続っ 三田学会雑誌 第44巻第2号 昭和26年2月
て
- 徳川期における棉作の発展について 国民経済雑誌 第86巻第2号 昭和27年8月
古代及び中世における土地制度(第 兵庫農地改革史 昭和28年3月
一編)
- 幕末における畿内一農村の村落構造 国民経済雑誌 第88巻第6号 昭和28年12月
畿内棉作における商品生産の発展に 神戸経済大学創立50周年記念論文 昭和28年
関する一考察 集——経済学篇——
- 徳川前期における西攝一農村の村落 国民経済雑誌 第91巻第1号 昭和30年1月
構造
- A Study of the Growth of Cotton Kobe University Economic 昭和30年
Production for the Market in Review 1
the Tokugawa Era——Especially in the Settsu Kawachi
District——
- 徳川中期における西攝一農村の村落 国民経済雑誌 第93巻第2号 昭和31年2月
構造
- 徳川時代の信用制度についての一試 神戸大学経済学研究年報3 昭和31年12月
論
——両替商金融を中心として——
- 徳川後期における西攝一農村の村落 国民経済雑誌 第95巻第5号 昭和32年5月
構造
- 幕末期における西攝一農村の村落構 国民経済雑誌 第98巻第2号 昭和33年8月
造

菜種作における商品生産と流通の構造	神戸大学経済学研究年報 6	昭和34年 7月
菜種国訴の一考察	国民経済雑誌 第100巻第 5号	昭和34年11月
寛政一文政期における幕府燈油政策と在地の動向	国民経済雑誌 第101巻第 6号	昭和35年 6月
幕末期における幕府燈油政策と在地の動向	国民経済雑誌 第103巻第 6号	昭和36年 6月
維新期の商業金融政策——通商会社・為替会社をめぐって——	社会経済史学 第27巻第 5号	昭和37年 5月
維新期の信用制度——大坂為替会社を中心にして——	神戸大学経済学研究年報 9	昭和37年 7月
清酒醸造業の発達——灘酒造業を中心にして——	第 2 次中小企業研究・I 『中小工業の発達』所収	昭和37年 7月
東京為替会社——維新期の信用制度における——(一)・(二)	国民経済雑誌 第 109 巻第 1 号・第 2 号	昭和38年 1・2月
兵庫商社——為替会社の先行形態としての——	国民経済雑誌 第109巻第 1号	昭和39年 1月
神戸為替会社——その設立と構成——	国民経済雑誌 第109巻第 3号	昭和39年 3月
神戸為替会社——その金融業務——	神戸大学経済学研究年報11	昭和39年 7月
国立銀行条例の成立	国民経済雑誌 第110巻第 3号	昭和39年 9月
国立銀行条例の一考察	国民経済雑誌 第110巻第 6号	昭和39年12月
染色工業の発達——京都染色業を中心にして——	第 3 次中小企業研究・I 『中小工業の発展』所収	昭和40年 1月
徳川時代の商業金融——荷為替金融をめぐって——	国民経済雑誌 第115巻第 1号	昭和42年 1月
幕末期・明治期の価格構造——国際的要因とそれへの対応の問題を中心として——	社会経済史学 第33巻第 1号	昭和42年 4月
株式会社制度と近代的经营の展開	経営史学 第 2 巻第 1 号	昭和42年 7月
An aspect of industrialization in Japan——In its formative stage——	Kobe University Economic Review 13	昭和42年

- 徳川時代の延為替金融——商業金融 国民経済雑誌 第117巻第4号 昭和43年4月
の形態としての——
- 徳川時代の為替取引に関する一考察 神戸大学経済学研究年報15 昭和43年10月
——御金蔵為替を中心に——
- 徳川後期・維新时期における共同企業 国民経済雑誌 第119巻第4号 昭和44年4月
- 徳川後期の価格構造——物価史研究 国民経済雑誌 第121巻第4号・ 昭和45年4・
の一つの試みとして——(1)・(2) 第5号 5月
- 日本経済史を学ぶ人のために 神戸大学経済経営学会「経済学研 昭和45年11月
究のために」
- 戦後のアメリカにおける近代日本経 宮本又次編『アメリカの日本研 昭和45年3月
済史研究の課題と動向——ヘン 究』所収
リー・ロソフスキー教授を中心
に——
- わが国在来帳合法の成立と構造 国民経済雑誌 第123巻第4号 昭和46年4月
——近世簿記発達史についての—
試論——
- 御金蔵為替成立に関する一考察 三田学会雑誌 第64巻第8号 昭和46年8月
- 藩札についての一考察——徳川時代 神戸大学経済学研究年報19 昭和47年12月
の信用制度との関連において——
- 外国よりみた日本の近代化 新野幸次郎他編『現代日本経済 昭和48年9月
論』所収
- 徳川後期の物価水準——大坂御売物 国民経済雑誌 第127巻第2号・ 昭和48年2・
価の動向を中心に——(1)・(2) 第3号 3月
- 経済史における数量的接近 経済セミナー 第229号 昭和49年4月
- 徳川時代後期西摂農村における貨幣 兵庫県の歴史 第11号 昭和49年5月
流通——摂津国八部郡花熊村の史
料を中心にして——
- 徳川後期における貨幣市場——金相 三田学会雑誌 第67巻第10号 昭和49年10月
場と為替打銀をめぐる——
- 前近代社会の貨幣・物価・賃金〔1〕 経済セミナー 第238号 昭和49年11月
——経済史における物価——
- 前近代社会の貨幣・物価・賃金〔2〕 経済セミナー 第239号 昭和49年12月
——江戸後期における金相場・為

- 替打銀相場——
- 徳川後期の物価——相対価格をめぐる
——(1)・(2)—— 国民経済雑誌 第130巻第6号 昭和49年12月
第131巻第1号 昭和50年1月
- 前近代社会の貨幣・物価・賃金〔3〕 経済セミナー 第240号 昭和50年1月
——江戸後期の物価・賃金——
- 前近代社会の貨幣・物価・賃金〔4〕 経済セミナー 第241号 昭和50年2月
——開港と「価格革命」——
- 幕末期の物価 一橋大学経済研究 第26巻第4号 昭和50年10月
- 徳川時代の経済発展 社会経済史学会編『社会経済史学
の課題と展望』所収 昭和51年3月
- 近世後期における物価・金相場・為
替打銀相場 新保博他編『数量経済史論集1：
日本経済の発展』所収 昭和51年4月
- 銭相場の変動 1736～88年——一つ
の数量的接近—— 国民経済雑誌 第133巻第6号 昭和51年6月
- 江戸後期における物価 統計 第28巻第3号 昭和52年3月
- 銭相場の変動 1789—1867年 国民経済雑誌 第137巻第1号 昭和53年1月
- The Tokugawa Monetary Policy Explorations in Economic 昭和53年1月
in the Eighteenth and Nine-
teenth Centurie's (T. Ohkura
と共同執筆) History Vol. 15 No. 1
- 幕藩制社会の諸問題——貨幣、金融、
財政と物価—— 正田健一郎・作道洋太郎編『概説 昭和53年8月
日本経済史』所収
- 幕末の貨幣政策——開港と万延の幣
制改革（大倉健彦と共同執筆） 新保博他編『数量経済史論集2：
近代移行期の日本経済』所収 昭和54年2月
- 江戸後期における物価の地域差——
近世物価史へのひとつの接近とし
て—— 国民経済雑誌 第139巻第5号 昭和54年5月
- 江戸の物価変動 1830—67年——大
阪との対比において—— 国民経済雑誌 第142巻第6号 昭和55年12月
- 幕末期における江戸の物価水準——
大阪との比較において—— 国民経済雑誌 第145巻第5号 昭和57年5月
- 幕末期における江戸と大阪の物価水
準——農林産物価格・工産物価格 国民経済雑誌 第145巻第6号 昭和57年6月

・農工間相対価格をめぐる——

- | | | |
|---|--|----------|
| 日本経済論 | 神戸大学経済経営学会「経済学研
究のために」(増補改訂第三版) | 昭和58年4月 |
| 江戸末期(文化～幕末・維新期)に
おける物価動向と経済発展 | 原田敏丸・宮本又郎編『歴史のな
かの物価——前工業化社会の物
価と経済発展』所収 | 昭和60年10月 |
| 幕末期における江戸と大阪の物価
——個別商品価格を中心にし
て—— | 国民経済雑誌 第153巻第3号 | 昭和61年3月 |
| 近代移行期における経済発展——課
題と方法—— | 神木哲男他編『近代移行期におけ
る経済発展』所収 | 昭和62年5月 |

——書評・その他——

- | | | |
|---|-----------------|----------|
| 藤田五郎著「近世農政史論」(書評) | 三田学会雑誌 第43巻第4号 | 昭和25年4月 |
| W. ホフマン「英国に於ける工業生
産の発展——量的研究——」
(紹介) | 三田学会雑誌 第44巻第11号 | 昭和26年11月 |
| E. H. ヘックシャー「産業革命以
前における瑞典の人口傾向」
(紹介) | 三田学会雑誌 第45巻第1号 | 昭和27年1月 |
| 貢租に関する農民訴訟の一資料 | 三田学会雑誌 第45巻第6号 | 昭和27年6月 |
| 棉花仲買人とリヴァプール棉花市場
の成立(資料) | 国民経済雑誌 第93巻第5号 | 昭和31年5月 |
| 作道洋太郎著「近世日本貨幣史」
(書評) | 国民経済雑誌 第99巻第3号 | 昭和34年3月 |
| 宮本又次著「大阪町人論」(書評) | 国民経済雑誌 第101巻第5号 | 昭和35年5月 |
| 作道洋太郎著「日本貨幣金融史の研
究」(書評) | 国民経済雑誌 第104巻第4号 | 昭和36年10月 |
| 堀江保蔵編「海事経済史研究」(書
評) | 国民経済雑誌 第116巻第2号 | 昭和42年8月 |
| 宮本又次編「史的研究・金融機構と
商業経営」(書評) | 経営史学 第3巻第2号 | 昭和43年7月 |
| 安岡重明著「財閥形成史の研究」 | 国民経済雑誌 第122巻第3号 | 昭和45年9月 |

- (書評)
- 内藤二郎著「本百姓制度の研究」 社会経済史学 第36巻第1号 昭和45年6月
- (書評)
- 麻島昭一著「日本信託業発展史」 経営史学 第5巻第3号 昭和46年7月
- (書評)
- 座談会・西摂の歴史(近世)(作道 兵庫県の歴史 第9号 昭和48年5月
洋太郎・山崎隆三他と)
- 速水融著「近世農村の人口学的研究」(書評) 日本経済研究センター 第208号 昭和48年9月
- ジョン・ロビンソン著・佐々木斐 国民経済雑誌 第128巻第2号 昭和48年8月
夫他訳「社会史入門」(書評)
- 座談会・経済発展100年の歩みを語る(江見康一・梅村又次他と) 書斎の窓 第227・228号 昭和49年1・2月
- 討論・江戸時代の社会経済の動き(速水融・西川俊作と) 経済セミナー 第242号 昭和50年3月
- ボズラップ著・安沢秀一他訳「農業成長の諸条件」(書評) ミネルヴァ通信 昭和50年6月
- 三上隆三著「円の誕生」(書評) 日本経済新聞 昭和50年11月
- 座談会・大阪—近世の秋(速水融・諸君 6月号 昭和51年6月
宮本又郎と)
- 財閥私考 日本経済新聞社・日本経営史講座 昭和51年10月
月報2
- 近世の秋 速水融編「歴史の中の江戸時代」 昭和52年7月
- 座談会・日本の新しい経済史(梅村又次・速水融他と) 三田評論 第778号 昭和53年2月
- ヒューズ著・角山榮他訳「世界経済史」(書評) 経済セミナー 第277号 昭和53年2月
- わが社会科学事始め——久保栄「火山灰地」—— 経済セミナー 第296号 昭和54年3月
- 数量経済史の人間化(講演) 三田学会雑誌 第75巻5号 昭和57年10月
- シンポジウム・わが国数量経済史の成長と課題(梅村又次他と) 季刊現代経済 第47号 昭和57年10月
- 梅村又次・中村隆英編「松方財政と 経済研究 第36巻第2号 昭和60年4月

殖産興業政策」(書評)

西川俊作著「日本経済の成長史」 エコノミスト 3月25日号 昭和61年3月
(書評)

「日本文化の国際化の条件に関する 21世紀文化学術財団昭和60年度研 昭和61年
研究——比較文化的個別研究と 究報告会報告要旨
それに基づく一般理論化への試
み——」

・辞書の項目・随筆・時評などは省略した。